

2023 年度 0 時間目の記録

2023 年5月8日(月)～14 日(日)

栽培中の植物

- ジニアプロフェーション
- バジル
- マリーゴールド
- コリウス
- トマト
- エダマメ
- ハツカダイコン
- センニチコウ
- キュウリ
- ナス

栽培管理内容

日時	天気	気温(℃)	管理・植物の様子・指導
		最高(℃)	
		最低(℃)	
5/8(月)	曇り	気温(20℃)	● 乾いている苗に灌水し、荷差しが強く遮光カーテンを引いた ● アブラムシ除去 筆ではアブラムシを除去しきれず、濡れたティッシュで対応した ハツカダイコン 何日くらいで食べられるようになったかの確認をした 学内の環境では 24～25 日くらいで食べられるようになる割合が高いそうだ 肥料を与えすぎるとハツカダイコンの葉が大きくなる。生育の良い葉は切れ込みがしっかりしていた
		最高(21℃)	
		最低(13℃)	
			● 病気・カビが出たものの処理方法 病気・カビが出たものを捨てる時は蓋をしておいておく。 胞子や菌が飛んで、再発してしまうのを防ぐためである。 病気・カビは土の中にもいるので、水やりなどで土がはねると付着する ● エダマメ かなり大きくなってきた。まだ定植まで日があるので、葉の重なりを軽減するため、スペーシングをした エダマメの白い斑点は、葉の生育時に虫に喰われ細胞が壊れることで白くなることがある。葉の裏の観察も大切 ● ピーマン 3～4 段目くらいの葉が丸まっていた。 ほぼ全ての株でそうなので、小さい時に何か不都合な条件が起こったと思われる。今後も観察が必要である

2023 年度 0 時間目の記録

			● キュウリ 巻きひげが出てきた。キュウリの成長に必要なものだが、温室内では絡める場所がないため、また今後行う定植作業を難しくするため、巻ヒゲはカットした べと病疑い。本来は葉脈に沿って升目を埋めるように黄色く症状が起こることが多い。灌水時、水が跳ねた時に胞子が付着することがあり、苗の下方の観察は大切。 罹患した場合には葉の裏にも葉を散布するとよい
5/9(火) 8:30	晴れ	気温(23℃)	● マリーゴールド 葉に出ている赤紫の点々は、油点という香り成分などの油滴が溜まっているところである ● エダマメ 初生葉と本葉で形が違う。初生葉はすぐに枯れてしまうが、もともとそのように予定されている葉である。本葉は3つで一枚の複葉である ● ズッキーニ 花咲いた。10cm くらいの黄色いラッパ型の花である。 ズッキーニは雌花と雄花に分かれていて、蕾の段階でツボミの付け根が太い(子房がある)のが雌花である ● トマト 鉢の状態だが、実がなった。植え替えをして、姿が安定しているためと思われる。 今は先日足した肥料が効いて、葉の大きさが安定している。 これから出てくる葉の大きさが小さくなってきたら、肥料が切れた印なので、必要に応じて再度肥料をあげる ● ハツカダイコン 収穫した。種まきから 31 日だった。収穫平均の24・25 日を過ぎての収穫だったためか形が太った根が採れた ただ、人によってはあまり大きくなっていない根もあったので、少しの環境の違いの影響が出やすいことがよく分かった ● オルトラン粒剤 根から薬剤を吸収させ、植物に毒成分を含ませて、汁を吸った虫を殺すタイプの薬剤である。 対象の植物の根元に置いたら、水で溶かして浸透させる。 溶かすときはホースなどで水を勢いよくかけると泡立って溶ける 農薬全般として、使用時の懸念点は、人体に影響がないか
		最高(24℃)	
		最低(10℃)	

2023 年度 0 時間目の記録

			である。それを明確にするために農薬は、一つ一つにいつまで使えるか書いてある。どの植物に対しても、使用期限と使用回数が決められている。食用物は基準が厳しい。
5/10(水) 8:30	晴れ	気温(23℃)	● アブラムシの確認 昨日オルトラン粒剤をまいたところのアブラムシの状態を確認した。群生する箇所が激減し効果を感じた。 繰り返し使用してしまうと耐性が付いてしまうので、既定の使用回数を守ることが大切である。 ● 全体に灌水
		最高(26℃)	
		最低(10℃)	
5/11(木) 8:30	晴れ	気温(23℃)	● ナメクジと思われる被害が多い 温室台の下に潜んでいる可能性はあり、台の下にナメクジ用の薬を設置しても良い。 ナメクジはビールを好むと聞いた。後日観察を検討した
		最高(28.5℃)	
		最低(13℃)	
5/12(金) —	晴れ	気温(20℃)	● 実習日であり、本日 0 時間は行わなかった ● 乾いている苗に灌水した
		最高(29℃)	
		最低(9℃)	
5/13(土)	曇りのち雨	気温(21℃)	● エダマメ・キュウリ・トマト・ナスを分区園に移植した。パークたい肥と高度化成肥料を混ぜ込んだ畝に、マルチングをして植えた。分区園は風が強く、またすでにトマトは背が高くなって自立が難しかったので支柱を立てた。 ● ジニアプロフュージョン・バジル・マリーゴールド・センニチコウは 3 号ポットに鉢上げした。
		最高(30℃)	
		最低(23.5℃)	
5/14(日)	曇りときどき雨	気温(20℃)	● 灌水した ● ジニアにアブラムシ発生していたため、ロハピを散布した ● コキアにもアブラムシが発生していたためお酢守りを散布した
		最高(28℃)	
		最低(24℃)	

2023 年度 0 時間目の記録

写真



5/8 ハツカダイコンの生育の良い葉



5/9 マリーゴールドの油点（黒い点）



5/9 エダマメの本葉



5/9 オルトラン粒剤使用後の灌水



5/9 オルトランの散布量目安



5/9 ズッキーニの雌花